

■ 高齢者に優しいグリーンスローモビリティ

広島工業大学

工学部環境土木工学科の今川朱美准教授の研究室は昨年10月、広島県廿日市市浅原地区で、ゴルフカートを改造した電動自動車「グリーンスローモビリティ」＝写真＝の実証調査を行った。学生6人が交代で運転し、中心部の浅原交流会館を発着点に約2～3キロ離れた3つの集落に向けて1日4、5往復、計約180往復運行した。利用者（片道換算）は延べ238人で、大半の利用者が移動手段として便利と答えた。

同地区は人口586人で高齢化率は50.5%。路線バスは走っておらず、調査中は中心部での体操教室や移動販売車などに気軽に外出していたという。今川准教授は「調査で課題も見えた。高齢化は待ったなしなので市は導入へ乗り出してほしい」と話している。

